

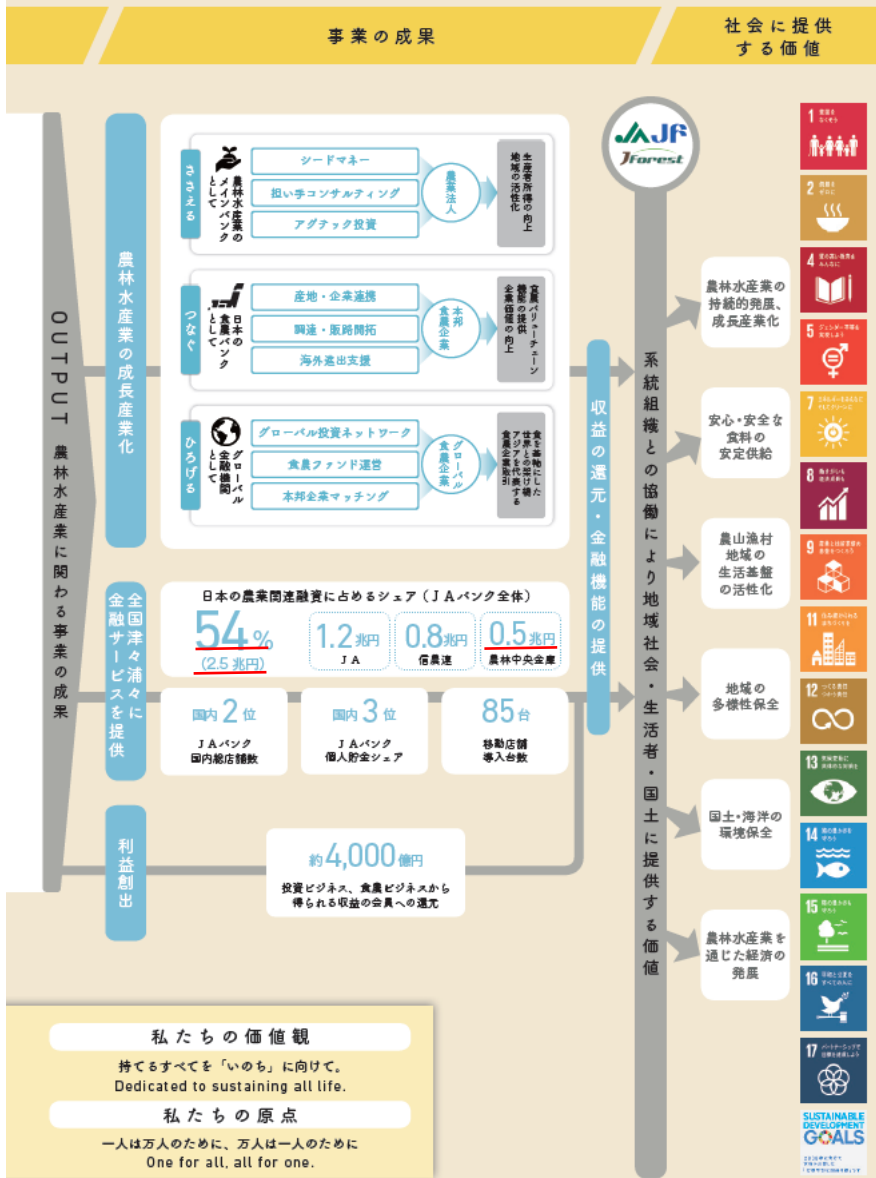
【VALUE REPORT 2019】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P23

日本の農業関連融資に占めるシェア（JAバンク全体）（訂正前）

# 価値創造モデル

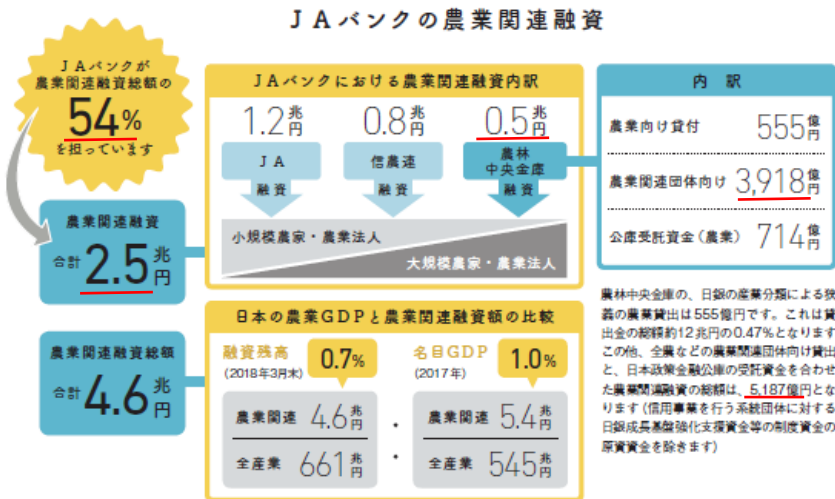


## 【VALUE REPORT 2019】

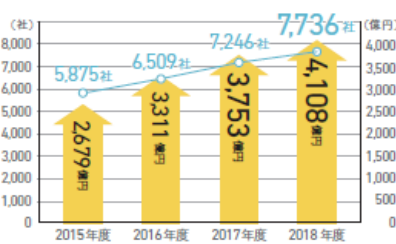
本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P41

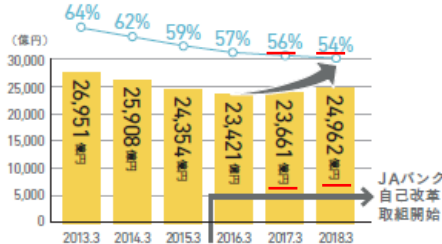
JAバンクの農業関連融資（訂正前）



農業融資新規実行額(長期)と農業法人の取引社数の推移



農業関連融資残高とシェアの推移



### “農”の分野で国内最大の貸し手

JAバンクはこれからも「農業のメインバンク」へ

農業向けの融資についても、JAバンクはJA・信農連・農林中央金庫で役割を分担しています。小規模な農家・農業法人の資金ニーズについては地域のJAが対応し、大規模な農家・農業法人などに対しては信農連と農林中央金庫が中心になって応えます。

この結果、JAバンクの農業関連融資はJAが1.2兆円、信農連が0.8兆円、農林中央金庫が0.5兆円で、合計2.5兆円（JAバンクが窓口となる日本政策金融公庫の受託を含む）。JAバンクは国内の農業関連融資総額4.6兆円の5割以上を占める最大の貸し手です。

JAバンクの農業関連融資残高はしばらく微減ベースが続いてきましたが、農業法人へのアプローチを強化した結果、2017年3月末には、前年度比で増加に転じま

した。また、半年度の農業融資の新規実行額も、取組みを強化した2016年度以降、年々増加を続けています。

JAバンクによる農業融資の伸びの背景には、JA・信農連・農林中央金庫がそれぞれに、あるいは連携して、農業関連分野への資金供給の強化に取り組んでいることがあります。小誌34ページで紹介している岩手県遠野市におけるBEER EXPERIENCE社への対応はその一例。融資を行ったJAと出資を行った農林中央金庫、そして信農連が一体のJAバンクとして、ニーズに合わせた多様な金融サービスを提供したものです。JAバンクはこれからも、農業の産業規模の拡大に伴って増大する資金需要にしっかりと応えていく「農業のメインバンク」であり続けます。

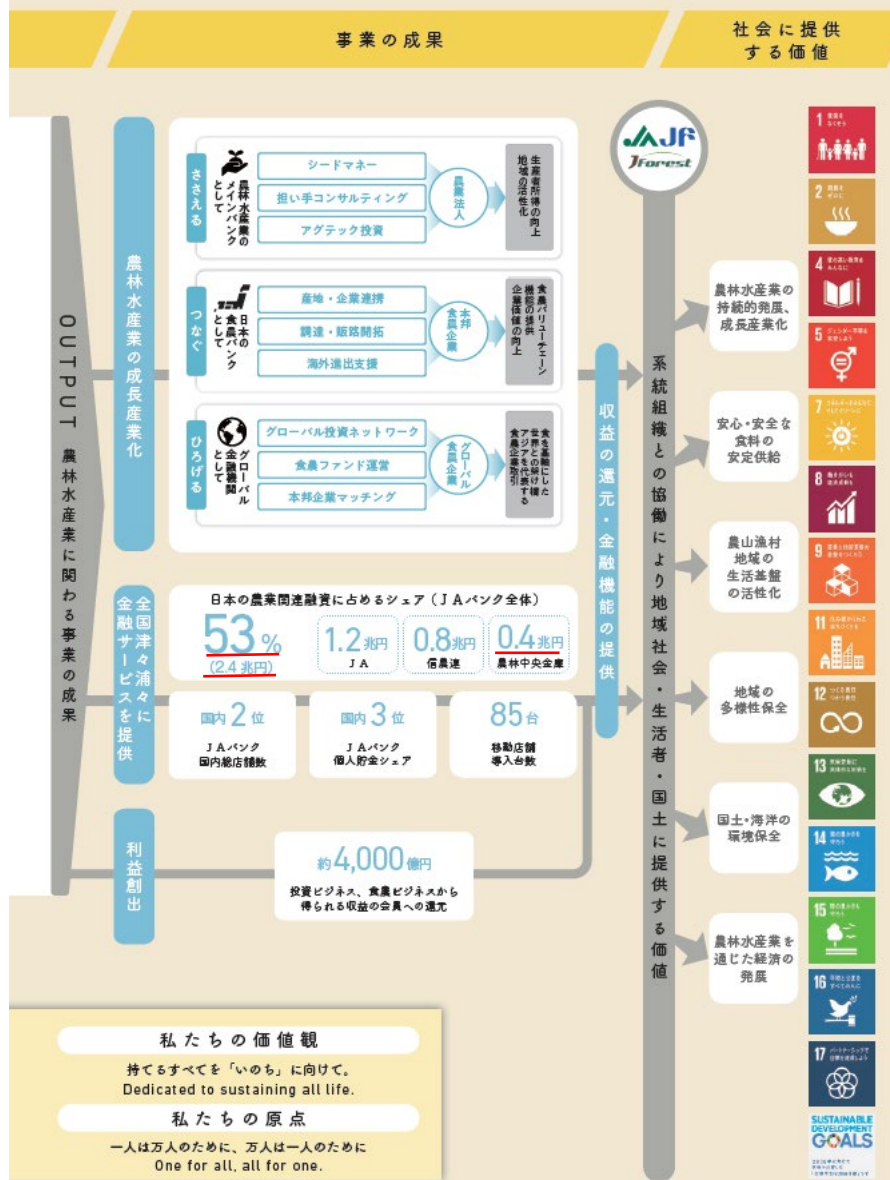
# 【VALUE REPORT 2019】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P23

日本の農業関連融資に占めるシェア（JAバンク全体）（**訂正後**）

## 価値創造モデル



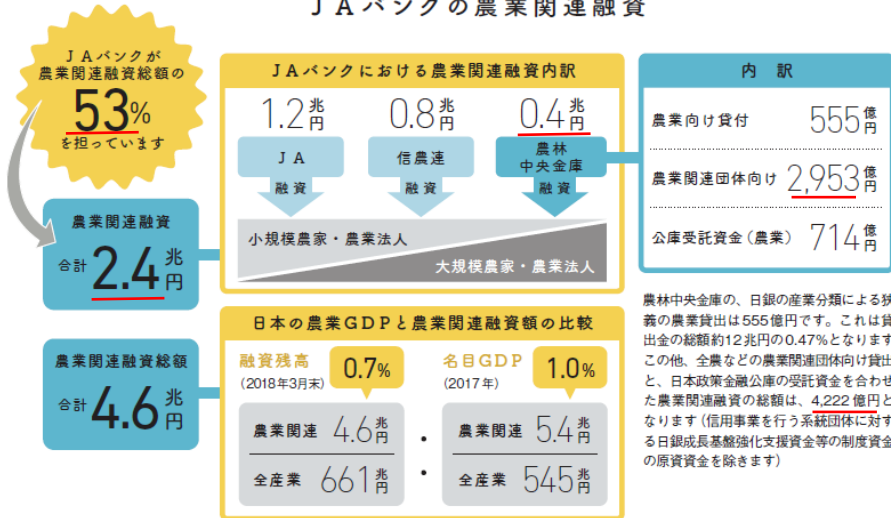
## 【VALUE REPORT 2019】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

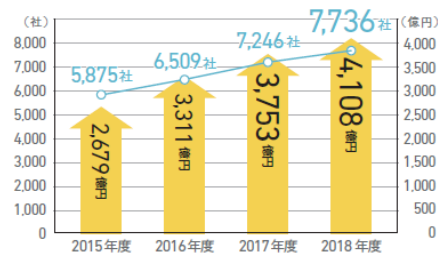
P41

JAバンクの農業関連融資（訂正後）

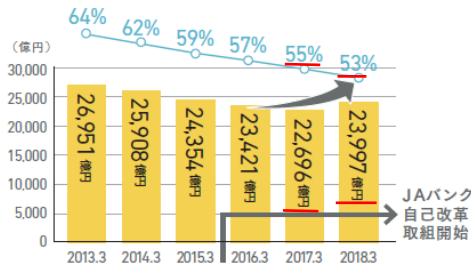
### JAバンクの農業関連融資



農業融資新規実行額(長期)と農業法人の取引社数の推移



農業関連融資残高とシェアの推移



### “農”の分野で国内最大の貸し手

#### JAバンクはこれからも「農業のメインバンク」へ

農業向けの融資についても、JAバンクはJA・信農連・農林中央金庫で役割を分担しています。小規模な農家・農業法人の資金ニーズについては地域のJAが対応し、大規模な農家・農業法人などに対しては信農連と農林中央金庫が中心になって応えます。

この結果、JAバンクの農業関連融資はJAが1.2兆円、信農連が0.8兆円、農林中央金庫が0.4兆円で、合計2.4兆円（JAバンクが窓口となる日本政策金融公庫の受託を含む）。JAバンクは国内の農業関連融資総額4.6兆円の5割以上を占める最大の貸し手です。

JAバンクの農業関連融資残高はしばらく微減ペースが続いてきましたが、農業法人へのアプローチを強化した結果、2017年3月末には、前年度比で増加に転じま

した。また、単年度の農業融資の新規実行額も、取組みを強化した2016年度以降、年々増加を続けています。

JAバンクによる農業融資の伸びの背景には、JA・信農連・農林中央金庫がそれぞれに、あるいは連携して、農業関連分野への資金供給の強化に取り組んでいることがあります。小誌34ページで紹介している岩手県遠野市におけるBEER EXPERIENCE社への対応はその一例。融資を行ったJAと出資を行った農林中央金庫、そして信農連が一体のJAバンクとして、ニーズに合わせた多様な金融サービスを提供したものです。JAバンクはこれからも、農業の産業規模の拡大に伴って増大する資金需要にしっかりと応えていく「農業のメインバンク」であり続けます。